

#SAS  
#睡眠時無呼吸  
#生活習慣病  
#肥満 #CPAP

## 歯科での閉塞性睡眠時無呼吸症候群(SAS)治療 ～いびき、窒息感の自覚、日中の居眠り等は要注意～



歯学博士 朝倉勉 院長

日先研認定医指導医  
大阪大学歯学部歯科医師  
臨床研修指導医

日本糖尿病協会歯科医師登録医

### 朝倉歯科医院

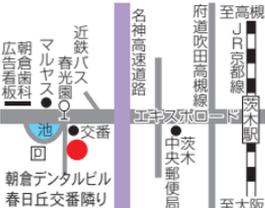
インプラント審美補綴研究所  
大阪大学歯学部臨床研修施設

小児歯科Happy club  
ホワイトニングサロンBLANCA  
茨木市南春日丘1-1-19

☎072-625-2001

☎0120-468-321

com21adc@gold.ocn.ne.jp



睡眠時無呼吸が注目されたしたのは、2003年の新幹線運転手の居眠りでした。SASは呼吸が止まっている、いびきがうるさいだけではなく、高血圧、心臓病、糖尿病等の疾患に繋がっています。通常睡眠時に呼吸は止まりませんが、舌の奥や喉の粘膜が垂れ下がって気道を塞いでしまい呼吸が止まるのです。SASになると取り込まれる酸素の量が低下し、疲れやすい、居眠りする、目が覚めるなどの症状がみられます。息が止まっていると診断されたら、まずは内科の専門外来を受診して検査を受けるのが一般的です。重度の方はCPAPという装置をつけて寝てもらいます。軽度中等度の方は歯科医院でマウスピース(下顎前方牽引装置)治療を受けます。マウスピースは患者さんの歯と口に合わせて型取りして、下顎を前に出し上下一体型で作成します。又、ダイエットや生活習慣、睡眠習慣の改善の指導も行います。SASでの診断書があれば、歯科でのマウスピース治療が可能です。



**セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きます**  
インプラント、金属アレルギー、入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・口臭治療・SAS治療・審美歯科・訪問診療などはお気軽にご相談ください。